
僕がいちばん望むコト

涼夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕がいちばん望むコト

【Nコード】

N21940

【作者名】

凜夢

【あらすじ】

センパイを想っていたユウキ

そんなセンパイに、センパイ自身も望まない許婚が現れた…

大好きだった人の、

心からの笑顔を望んでたんです

表では笑っていたアナタの、その笑顔の裏に…

どれだけの悲しみを背負っていたか、僕は知っていたから

アナタに笑っていてほしかった

叶わぬ願いがそこにあるとしたら、せめて…

アナタの幸せだけは、祈ります

アナタのことが、好きだから

「…え 佐久間^{さくま}、今なんて？」

「…だから、学園のアイドル、御里センパイ^{みさと}に
許婚が現れたんだと」

「いいなず…け」

―御里 宮乃

（みさと みやの）センパイ

学園のアイドル的な存在で、お金持ちのお嬢様
けど、そんな事感じさせないぐらい

気さくで明るい

―僕の好きなひと

僕、頼宮 夕稀

(よりみや ゆうき)は、

そんなセンパイと仲が良かったりする

だから、いつか告白できたら…って思ってた
のに…

「佐久間、さき授業戻っというて!!」

無意識に走り出していた

センパイを探して…

まずは、事実確認だ！！！！

「夕稀！！…まったく、恋は盲目だねえ…」

――！！

「御里センパイ！！」

「……？　夕稀くん」

「……あの、ちょっといいですか？」

「……え！？」

有無を言わず引っ張ってく…。

「…御里センパイ、許婚って…」

恐る恐る聞いてみると、センパイは困ったように微笑んだ

「…ああ もう伝わっちゃったかあ…。もしかして佐久間くん？」

「あ……まあ……」

「……、うん。ホントだよ……。つい先日、父から言い渡されたの
宮乃の許婚だ……って

話した事もない知らない人をね……紹介されて

社会人なんだけど、卒業と同時に……

結婚、させられるかもしれないの……」

センプイは、オレンジに変わりつつある空を眺めながら

泣きそうな声でつぶやいた――

.

「…センパイ、は…それを…」

結婚することを望んでいないんですよね?」

「そりゃあ そうだよ…」

私だって、好きな人と

普通の恋がしたいよ…」

「…っ じゃあ 拒否すれば…」

「出来ないよっ」

「なんで…」

「お父さん…もう、長くないの…」

もともと心臓が悪くて…私の卒業までがギリギリかもしれない…

だから、私…

お父さんの願い、叶えてあげたい

それに、後継ぎもいなきゃいけない…

そしたらやっぱり、結婚しかないんだよ」

センプイは力なく言った

…確かにその通りだ

センプイの父親がなくなれば後継ぎも必要で

最後の願いが、自分の選んだ人とセンプイが結ばれること…

でも…だからって

違うだろ

こんなのは…

「…センパイは、相手のこと好きじゃないんでしょう!？」

それなのに…

犠牲にする必要なんて…

僕…僕は、センパイのことずっとずっと好きでした!！」

「夕稀くん!!!？」

もし…

逃げる事が出来たら

今すぐにも攫っていくのに…

「…ごめん。私、お父さんの願い、叶えてあげたいよ。

…でもっ

私…私も…——っやっぱ、なんでもない」

「センパイ…」

センパイは笑っていたけれど、その眼には涙が浮かんでいた

センパイが結婚する事を自ら望んでいたのなら

それでもよかった

「…センパイが、結婚する事望んでたのならそれでいいです。

…けどっ なら笑ってください

心から笑ってみせて…、

そしたら、僕だって何もいいません…でも

泣いてるじゃないですか

センパイ、泣いてます」

「…だって、どうしようもないじゃない!!」

お父さんの願いは、もう最後なんだよ!?

もう…会えないのに…。

なら、せめて願いは叶えてあげたいって、

思っものでしょう!?!」

お互い、勢いで攻めたてて…それ以上

何を言うでもなく、

ただ…ただ、時間だけが流れていった

それからしばらく

センプイは卒業して

結婚した

自惚れ…かもしれないけれど、

たぶん僕たちはお互いを想ってたんだ

僕たちの想いは叶うことがなかったけれど、

アナタの心からの笑顔を望みます

幸せで、あるようにと…

もし…

もう一度巡り会えたら

今度こそ…

今度こそ結ばれよう

アナタのことが、好きでした

|
E
N
D

（後書き）

如何だったでしょうか…

まだまだ駄文ですが、

少しでも楽しんでいただけたのなら幸いです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2194o/>

僕がいちばん望むコト

2010年10月10日01時41分発行